

関係各位

日本ダンス・セラピー協会（仮称）設立趣意書

拝啓、若葉の美しい季節になりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、本日お便りを差し上げましたのは、日本ダンス・セラピー協会（仮称）の設立に関してでございます。お忙しいところを恐縮ですが、よろしくご検討頂き、ご参加頂ければ幸いです。

☆ ☆ ☆

ご存知のように、ダンス・セラピーは1940年代に米国で始まったとされています。1966年にはADTA（アメリカ・ダンス・セラピー協会）が設立され、千名以上の会員を擁しています。ドイツにおいてもダンス・セラピー協会が設立され、1991年には十周年の大会を開いたと聞いております。また、南米でも多くのダンス・セラピストが活躍していると言われております。

日本においても同様の試みが以前からなされていましたが、米国のダンス・セラピーが初めて紹介されたのは1960年代の模様です。当時はダンス・セラピーについて関心を示す人は少なかった様子で、記録もほとんど残っておりません。しかし、1980年代後半から海外のダンス・セラピストが相次いで来日し、多くの関心を集めるようになりました。日本各地にもダンス・セラピーの小さな研究会がいくつも作られた様子です。このような状況について、以下の二つの特徴を指摘することができると思います。

- ① **社会的需要が増大したこと**。都市における「社会的な問題」と「経済的ゆとり」が増大すると共に、多くの人々の耳目がダンス・セラピーに向けられるようになりました。ワークショップへの参加者が増大し、ダンス・セラピーのセッションを開設する病院、学校等も増えて来ました。
- ② **研究者、実践者が増え始めたこと**。これまで日本各地で独自に方法を模索し、実践を重ねて来た人々が、さまざまな方法で社会的な働きかけを始めました。ダンス・セラピー関連領域における様々な学会で、ダンス・セラピーについての研究が発表され、また、ダンス・セラピーの部門を設置する学会も現れました。「ダンス・セラピー」と銘打って各種のワークショップを開いている講師も少なくありません。さらに、外国でダンス・セラピーを学び、ダンス・セラピストの資格を取得した人々が、日本国内で活動を始めました。

以上のように。数年前と比べると正に隔年の感があり、ここに日本のダンス・セラピー

は新しい時代を迎えたと感じています。私たちはこのような状況を考慮し、「日本ダンス・セラピー協会（仮称）」を設立することに致し、すでに3回の設立準備委員会を開いて検討して来ました。この度、1992（平成4）年9月19日（土）～20日（日）に設立大会を開く運びとなりました。私たちの趣旨にご賛同の方はどうぞご参加下さい。

なお、「ダンス・セラピー」の定義につきましては様々なものがあります。ダンス・セラピーを定義すること自体も、これから私たちがやらなければならない課題の一つでもあります。協会の設立時点におきましては、はなはだあいまいではありますが、「ダンス・セラピーとは、ダンスやムーブメントを心身の問題の治療や予防、及び、健康の増進に用いること」とし、対象、目的、技法等を可能な限り広く捉え、多くの人々の参加を求めたいと考えております。

末筆になりましたが、みなさまのご健康とご活躍を願っております。

敬具

1992（平成4）年5月吉日

発起人：池見酉次郎、英二三枝子、町田章一  
岩下徹、平田豪成、梅田忠之